

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年2月14日

【四半期会計期間】 第81期第3四半期(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

【会社名】 スーパーバッグ株式会社

【英訳名】 Superbag Company, Limited

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 福田 晴 明

【本店の所在の場所】 東京都豊島区西池袋5丁目18番11号

【電話番号】 (03)3987 - 9201

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員経理部長 吉 田 精 一

【最寄りの連絡場所】 埼玉県所沢市若狭1丁目2602番地

【電話番号】 (04)2938 - 1244

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員経理部長 吉 田 精 一

【縦覧に供する場所】 スーパーバッグ株式会社 大阪支店
(大阪市都島区東野田町1丁目20番5号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第3四半期 連結累計期間	第81期 第3四半期 連結累計期間	第80期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (百万円)	25,952	25,696	33,495
経常利益 (百万円)	704	438	800
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	481	276	543
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	436	465	541
純資産額 (百万円)	4,120	4,596	4,224
総資産額 (百万円)	19,412	19,713	17,907
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	314.40	181.08	355.21
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	20.6	22.6	22.8

回次	第80期 第3四半期 連結会計期間	第81期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	192.00	144.96

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、第80期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、雇用情勢の改善をはじめとした景気回復基調が続く一方で、地政学的リスクや、米国・欧州における政治経済動向などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、個人消費の節約志向は依然として根強く、回復感に乏しい傾向にある一方、化成品原材料価格がじり高で推移したほか、物流コストが上昇した影響などから、厳しい状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループは『収益力とグループ総合力の強化に向けた変革』を基本方針として、安定した収益の確保に向け、「売上の確保」、「生産の拡大・生産効率の向上」、「利益拡大」、「管理体制の強化」などを課題として、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減に取り組み、業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,696百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益412百万円（前年同四半期比50.2%減）、経常利益438百万円（前年同四半期比37.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益276百万円（前年同四半期比42.4%減）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、「セグメント情報等」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用540百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、主力の手提袋は販売金額が増加したものの、角底袋や紙器の販売金額減少などにより、売上高は前年同四半期に比べ35百万円増加して10,538百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は生産効率の向上に努め生産利益が増加したものの、仕入品の価格上昇や販売管理費の増加などにより、前年同四半期に比べ90百万円減少して552百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、主力のレジ袋の販売数量減少などにより、売上高は前年同四半期に比べ353百万円減少して9,923百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格および仕入価格の上昇に加えて販売管理費も増加し、前年同四半期に比べ257百万円減少して357百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しており、清掃用品や販売用品の増加などにより、売上高は前年同四半期に比べ61百万円増加して5,234百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は販売管理費の増加により、前年同四半期に比べ25百万円減少して42百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,805百万円増加して19,713百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が1,865百万円増加、たな卸資産が520百万円増加した一方、現金及び預金が1,063百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,342百万円増加の13,220百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の時価評価差額が218百万円増加、設備投資等により460百万円増加、退職給付に係る資産が63百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費で279百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ462百万円増加の6,493百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,433百万円増加して15,116百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,085百万円増加、電子記録債務及び設備電子記録債務が272百万円増加、短期借入金及び長期借入金が136百万円増加、未払金及び設備関係未払金が235百万円増加した一方、未払法人税等が189百万円減少、賞与引当金が113百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ372百万円増加して4,596百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により276百万円増加、その他有価証券評価差額金が152百万円増加した一方、剰余金の配当で91百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の22.8%から22.6%になりました。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は11百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,763,000
計	5,763,000

(注) 平成29年6月29日開催の第80回定時株主総会決議により、平成29年10月1日付で当社普通株式10株を1株とする株式併合に伴う定款変更が行われ、発行可能株式総数は51,867,000株減少し、5,763,000株となっております。

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,686,154	1,686,154	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	1,686,154	1,686,154		

(注) 1. 平成29年6月29日開催の第80回定時株主総会決議により、平成29年10月1日付で当社普通株式10株を1株に併合いたしました。これにより、発行済株式総数は15,175,390株減少し、1,686,154株となっております。
 2. 平成29年6月29日開催の第80回定時株主総会決議により、平成29年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年10月1日	15,175,390	1,686,154		1,374		849

(注) 平成29年6月29日開催の第80回定時株主総会決議により、平成29年10月1日付で当社普通株式10株を1株に併合いたしました。これにより、発行済株式総数は15,175,390株減少し、1,686,154株となっております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 156,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,513,900	15,139	
単元未満株式	普通株式 15,554		
発行済株式総数	1,686,154		
総株主の議決権		15,139	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式93株が含まれております。

【自己株式等】

平成29年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) スーパーバッグ株式会社	東京都豊島区西池袋 5 18 11	156,700		156,700	9.29
計		156,700		156,700	9.29

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,924	861
受取手形及び売掛金	5,502	7,368
電子記録債権	1,161	1,172
商品及び製品	2,276	2,633
仕掛品	308	317
原材料及び貯蔵品	411	567
繰延税金資産	112	57
その他	181	245
貸倒引当金	2	3
流動資産合計	11,877	13,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,405	6,381
減価償却累計額	5,031	5,056
建物及び構築物(純額)	1,373	1,325
機械装置及び運搬具	10,219	10,395
減価償却累計額	9,425	9,439
機械装置及び運搬具(純額)	793	955
土地	1,123	1,123
リース資産	609	564
減価償却累計額	169	155
リース資産(純額)	440	409
建設仮勘定	88	152
その他	807	834
減価償却累計額	750	751
その他(純額)	57	83
有形固定資産合計	3,876	4,049
無形固定資産		
電話加入権	15	15
その他	36	37
無形固定資産合計	51	53
投資その他の資産		
投資有価証券	1,468	1,694
破産更生債権等	7	4
事業保険金	86	89
差入保証金	256	266
退職給付に係る資産	213	276
繰延税金資産	82	65
その他	4	3
貸倒引当金	17	10
投資その他の資産合計	2,101	2,390
固定資産合計	6,030	6,493
資産合計	17,907	19,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,965	1 6,050
電子記録債務	2,027	1 2,264
短期借入金	1,801	1,960
リース債務	61	64
未払金	483	645
未払法人税等	219	30
未払消費税等	105	17
賞与引当金	244	130
設備関係支払手形	4	0
設備関係電子記録債務	25	60
設備関係未払金	29	102
その他	165	238
流動負債合計	10,132	11,566
固定負債		
長期借入金	2,379	2,355
リース債務	401	359
繰延税金負債	1	58
役員退職慰労引当金	81	96
環境対策引当金	4	4
退職給付に係る負債	681	675
固定負債合計	3,550	3,550
負債合計	13,683	15,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,450	1,450
利益剰余金	1,391	1,577
自己株式	260	261
株主資本合計	3,956	4,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186	339
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	24	36
退職給付に係る調整累計額	75	67
その他の包括利益累計額合計	135	308
非支配株主持分	132	147
純資産合計	4,224	4,596
負債純資産合計	17,907	19,713

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	25,952	25,696
売上原価	21,189	21,136
売上総利益	4,763	4,560
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,025	2,107
給料及び手当	1,177	1,285
賞与引当金繰入額	61	63
退職給付費用	50	47
賃借料	133	138
旅費及び交通費	81	97
その他の経費	406	409
販売費及び一般管理費合計	3,936	4,148
営業利益	826	412
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	27
貸倒引当金戻入額	-	4
持分法による投資利益	23	23
為替差益	-	2
受取賃貸料	21	21
作業くず売却益	4	7
受取保険金	-	5
その他	15	15
営業外収益合計	89	107
営業外費用		
支払利息	63	63
為替差損	129	-
貸倒引当金繰入額	0	-
その他	18	17
営業外費用合計	211	81
経常利益	704	438
特別利益		
固定資産売却益	9	1
投資有価証券売却益	0	0
補助金収入	5	-
特別利益合計	14	1
特別損失		
固定資産除却損	26	10
固定資産売却損	6	-
特別損失合計	33	10
税金等調整前四半期純利益	686	429

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	141	76
法人税等調整額	47	59
法人税等合計	188	136
四半期純利益	497	293
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	276

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	497	293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	152
繰延ヘッジ損益	29	1
為替換算調整勘定	120	6
退職給付に係る調整額	15	7
持分法適用会社に対する持分相当額	14	4
その他の包括利益合計	60	172
四半期包括利益	436	465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438	450
非支配株主に係る四半期包括利益	1	14

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
受取手形		54百万円
電子記録債権		50 "
支払手形		24 "
電子記録債務		6 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
減価償却費	259百万円	280百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	91	6	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	91	6	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,503	10,276	5,172	25,952		25,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	10,503	10,276	5,172	25,952		25,952
セグメント利益	642	614	67	1,324	498	826

(注) 1. セグメント利益の調整額 498百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,538	9,923	5,234	25,696		25,696
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	10,538	9,923	5,234	25,696		25,696
セグメント利益	552	357	42	952	540	412

(注) 1. セグメント利益の調整額 540百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	314円40銭	181円08銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	481	276
普通株主に帰属しない金額 (百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	481	276
普通株式の期中平均株式数(株)	1,530,176	1,529,648

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年2月13日

スーパーバッグ株式会社
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 北 島 緑 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 平 井 肇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスーパーバッグ株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スーパーバッグ株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。